

積み重ねた人生背景や感情と、議員バッジと

保健医療学部専攻助産学分野 池田友紀

今回の講義を受けるまで、議員バッジは資格を持つ証明書のようなもので、ただのバッジであると感じていた。

しかしバッジは「黄門様の印籠の役目」、様々なところで優待されるのだと知った。

空港では、金属探知器のゲートでチェックされずに通過でき、機内では座席をわざわざ用意してもらえる。

居酒屋では障害者というだけで、いつも門前払いされるにもかかわらず、議員バッジを付けるだけで席を案内してくれる。

テレビドラマの世界でしかないような出来事が実際に起こっていた。信じられない出来事があるのだと感じた。

人々は決して「人」を相手にしているのではなく、「バッジ」を相手にしている。人々は何を見て判断しているのか考えさせられた。

私は、議員バッジをみたことがないが、その場面に立ち合ったら同じような対応をとってしまうのかと考えると情けないと感じてしまう。

バッジや地位などで判断するのではなく、人間であるのだからこそ「人」を相手にしていくことが大切なのではないか。

その人の積み重ねた人生背景や感情は、バッジよりもはるかに価値のあるものだと考えさせられた講義であった。